

生田中学校避難所運営会議活動の経緯と今後の課題

災害発生時、多摩区災害対策本部（本部長=区長）は避難所を生田中学校に開設・運営します。

近隣住民とPTA並びに施設管理者である校長は運営委員会を組織し、それに協力します。学校職員がその事務局となります。行政は災害時を想定し、災害対策用設備、備品、備蓄食品等を準備します。運営委員会は平時からその開設・運営の準備のため下記の活動をします。

1. 運営マニュアル作成
2. 運営訓練
3. 自治会組織との連携

現在の進捗は運営マニュアル仕上げの過程にあります。即ち、発災時に運営委員会はその時駆けつけた限られた人々を中心に再編成されますから、その人々がマニュアルを読み、即、行動がとれるレベルに仕上げる必要があります。

その過程において、平成25年度に平成24年度のマニュアルを整理整頓し、マニュアル骨子と言うべき平成26年度版マニュアルを作成しました。それを基に平成26年度から平成27年度にかけて班ごとに、より具体的に、よりわかりやすいマニュアルに仕上げるべく作業をしてきました。務班並びに救護班は検討会を持ち、その最終段階にあります。その他の班は素案を書き上げた段階にあります。

今後の課題は下記のとおりです。

1. 各班のマニュアルを完成させること。
2. マニュアルに基づき訓練すること。
3. マニュアルを改善すると同時に運営鍛度を上げること。
4. 上記過程において必要と認められた備品を行政に要求し完備すること。
5. 自治会組織との連携を含め組織の継続性を維持すること。

以上

2015.7.29 山吉